

Youtuberなら録画・録音していた
やとりの中で生じた雑音はカットすると思うし、

大抵の人がテレビを見ているときに画面が
ザザザと乱れたら
「おや」と感じて
配線まわりの確認を
始めると思う。



ノイズを音楽のジャンルから切り離してみると、世間一般的にノイズ＝耳を塞ぎたくないような音や電波障害による画面の乱れを指すことが多い。ふとした瞬間に生じたノイズでも、環境や空間に家具の「とく馴染んでいたり心地良く感じる周期で聴こえてきたりするのならば「悪くないな」と感じるものだろうか。

ノイズの中でもピングノイズと呼ばれるものは「横になつて聴くとよく眠れる」なんて話を耳にする。一方、数あるノイズミュージックの中でも『ハーシュノイズウォール』に関しては、連続したノイズサウンドが絶え間なく鳴り続ける。いざスマホで聴いてみると聴き始めは「これは何ぞ」と思うのだが、スピーカーを通して聴くと異質な音の出入りが確認できるので、耳をすませて聴くのがなかなか楽しい。ただ、それはこの59分間ザア、と続くノイズと向き合つてみないと氣付けなかつたことだ。決して正解はない。まずみつめる。



ものごとや人の声と
向き合つていうのは
「編集」の一歩手前の作業だ。

いろんな角度からものごと
や人と向き合つて、情報を
集めてほぐして、そこから
やつとこさ、編むのだ。

今回の展示『みつめるノイズ』は「編集」と「ノイズをみつめる」それぞれの行為に共通項が多いことから生まれた。「みつめることをあきらめないで」というメッセージを伝えるために創作した絵やテキスト、印刷実験を行った結果を展示するが、展示内で扱っているモチーフの善悪を定義するつもりはさらさら無い。これらがあなたにとつて雑音なのか、ちょっとといい感じなのか判断するまでのプロセスを踏んでほしいだけなので、このテーマで正解を求めるのはナンセンスである。関係ないと思つたものも、違和を感じたことも、耳をすませてみてほしい。//ユートしないで欲しい。

みつめるノイズ -intro-